

解放後の韓国大衆歌謡の年表 2 (1950年)

(『むくげ通信』258号、2013.5.26)

山根 俊郎

1950年

関連事件

1月 KPK楽団「カルメン幻想曲」公演 歌手白雪姫（女性 ベク・ソヒ 1927-2010）主演

1月 銀の鈴（ウンパンウル）ショー「南仁樹（ナム・インス）対玄仁（ヒョン・イン）歌謡合戦」公演

主要人物

歌手兼作曲家 金教声（男性 キム・ヨソン 1904-1961）高麗レコード文芸部長に就任

歌手白雪姫『ウグイス江山』（ケコリガサン カコリ 강산）高麗レコードから音盤デビュー

歌手韓福男（男性ハン・ボクナム 1919-1991）『日暮れの忠武路』、『ピンデトック紳士』アジアレコードから音盤デビュー

この頃、歌手李花子（女性 イ・ファジョン 1917-1950）死亡

（以下は朝鮮戦争中の出来事）

歌手兼作曲家 金海松（男性 キム・ヘソン 1911-1950）拉北の途中で死亡

この頃、歌手李奎南（男性 イ・キュナム 1910-1974）越北

歌手兼コメディアン李福本（男性 イ・ボクボン 1912-1950）戦争中に被殺。

主要作品

『泣いて越える朴達峠』、『日暮れの忠武路』、『ピンデトック紳士』、『ソウル夜曲』、『愛情山脈』、『戦友よ 安らかに眠れ』、

その他社会文化的な事件

1月 放送コンテンツ提供事業遂行のため放送文化社創立

6月 パンソリの名唱李東伯（男性 イ・トンボク）死亡

6月 25日韓国戦争勃発

10月 中共軍が韓国戦争に参戦

10月 駐韓米軍放送（AFKN）開局

外国大衆歌謡音楽史 主要事件

日本で『水色のフルツ』ヒット

1950年の流行

（出典：「写真で見る光復30年史」（1945年～1974年）正音社 1975年発行 P70）

服装—ジャンパースタイル（점퍼 스타일 jumper style）、フロアスカート（플레이스커어트 flare skirt）、

流行語—道民証（도민증）、人海戦術인해전술）、

流行歌－『野茨』（チルコッ 쯔레꽃）⇒（注）リメイク曲が 1949 年から流行？、『南国の中星』（ナムヨッタラ シブ チヤン 남쪽나라 십자성）＝（注）正式な題名は『故郷万里』（コヒヤンマリ 고향 만리）である。その出だしの歌詞である。⇒レコードの発売時期は 1949 年。

「表2」 1950年発売のラッキーレコード一覧表」（判明分）

★=ヒットした曲。すべて 1950 年 5 月頃発売と思われる。

★A 面『愛情山脈』（エジヨンサンメク 애정산맥）俞湖詞・朴是春曲・玄仁唄 L-7710。⇒1953 年映画化された。映画「愛情山脈」成功。B 面『希望の花車』（ヒマンエ コッスル 희망의 풍수레）俞湖詞・朴是春曲・金海松編曲・張世貞唄

A 面『そよそよ春風』（サルラン チュンブン 살랑춘풍）金海松詞・朴是春曲・黃貞子唄 L-7711、1940 年『そよそよ春風』李花子唄のリメイク。B 面『流れ去ったロマンス』（フルガソ ロマン스흘러간 로맨스）金海松詞・金海松曲・玄仁唄

★A 面『ソウル夜曲』（ソ울 ヤク 서울야곡）俞湖詞・玄東柱=玄仁曲・玄仁唄 L-7712、玄仁が作曲している。B 面『涙のセニヨリータ』（ンムレ セニヨリータ 눈물의 세뇨리타）金草浪詞・金インス 김인수曲・孔美仙唄

★A 面『印度の香火』（イントエ ヒャンブル 인도의 향불）孫鷺顧=孫露源詞・全吾星=全吾承曲→デビュー曲・玄仁唄 L-7713。B 面『ソウルブルース』（서울 부루스）孫鷺顧=孫露源詞・全吾星=全吾承曲→デビュー曲・玄仁唄

A 面『涙の五里亭』（ムンムレ オリジョン 눈물의 오리정）金草浪詞・朴是春曲・朴載弘唄 L-7716、=リメイク曲。元は 1948 年オーケーレコード、玉斗玉+朴載弘唄。B 面は、不明。



「表3」 1950 年発売の他社のレコード一覧表」

★A 面『泣いて越える朴達峠』（ウルゴノムンバクタルチエ 울고넘는 박달재）半月夜詞・金教声曲・朴載弘唄 K 8010 A 高麗レコードから 1950 年 5 月、朝鮮戦争勃発の 1 ヶ月前に発売された。しかし本格的なヒットは、1955 年に朴載弘が再度歌いオアシスレコードからリメイク出盤したレコードが大ヒットしたのでは？

B 面『ウグイス江山』（ケコリガンサン 꾀꼬리 강산）白鳴詞・金教声曲・白雪姫唄=白雪姫のデビュー曲。

A面『日暮れの忠武路』(チョムン チュンムロ 저무는 충무로 金草郷詞・金海松曲・韓福男唄 A-1801 アジアレコードから 1950年4月朝鮮戦争勃発の2ヶ月に発売された。韓福男は1947年平安南道安州から家族でソウルに越境してソウルの鐘路で洋服店を営んでいた。歌手になりたくて常連客である作曲家朴是春と金海松にプレゼント攻勢でしたが朴是春は曲を書いてくれず、金海松が『日暮れの忠武路』を書いてくれてデビュー曲となった。B面『泣いて笑う処女夢』(ウルグ ウンヌン チヨニヨモン 울고웃는 처녀몽) 金健詞・李鳳龍曲・張世貞唄
★A面『ピンデトック紳士』(ピンデトック シサ 빈대역 신사 白雲=韓福男詞・ヤンウォンベ 양원배=韓福男曲・韓福男唄 レコード番号不明、B面不明。アジアレコードから 1950年5月朝鮮戦争勃発直前に発売された。韓福男は以前から『ピンデトック紳士』を舞台で歌っていた。その後釜山でトミドレコードを創業した韓福男は1960年に10インチLPレコードでリメイクして大ヒットした。「韓福男が1946年5月20日に作詞、作曲した」と息子の作曲家河基松は2012年発売トミドレコード復刻版「歌謡アルバム」の解説で主張した。



「表4」 1950年朝鮮戦争勃発後に創作された陣中歌謡

1. 『勝利の歌』(スリエル 승리의 노래) 金玲燮詞・李興烈曲
2. 『勝利の勇士』(スリエヨンサ 승리의 용사) 羅正基詞・朴是春曲・玄仁唄。 「勝利日報」(李端求 編集) の懸賞入選作。陣中歌謡第1号である。
3. ★『戦友よ 安らかに眠れ』(チョヌヨ チャル チャゴラ 전우야 잘 자거라) 愉湖詞・朴是春曲・玄仁唄 1950年10月ソウル収復時に愈湖と朴是春が偶然に再会して一夜で創作した。1番は朴是春作詞、2~4番は愈湖が作詞。鴨緑江をめざす戦局を歌った。1951年に大邱のオリエントレコードで玄仁が吹き込み大ヒットした。(次号は「1951年」を書きます)